

2022年JAF全日本・ジュニアカート選手権 西地域 第1戦

特別規則書（草案）

本選手権競技会は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとに FIA 国際モータースポーツ競技規則／国際カート規則およびその付則に準拠した J A F 国内競技規則、JAF 国内カート競技規則、およびその付則、2022 年日本カート選手権規定、2022 年 J A F 全日本・ジュニア選手権統一規則、および本大会特別規則に従って開催される。

第1章 競技会開催に関する事項

第1条 大会名称

- 2022 年全日本カート選手権 FS-125 部門 西地域 第1戦
- 2022 年全日本カート選手権 FP-3 部門 西地域 第1戦
- 2022 年ジュニアカート選手権 FP-Jr 部門 西地域 第1戦
- 2022 年ジュニアカート選手権 FP-JrCadets 部門 西地域 第1戦
- 2022 年全日本カート選手権 EV カート部門

第2条 競技の種別

1. 種目：スプリント 最大出走台数 34 台
2. 区分・格式
 - FS-125 部門 全日本カート選手権 （国内格式）
 - FP-3 部門 全日本カート選手権 （国内格式）
 - FP-Jr 部門 ジュニアカート選手権 （準国内格式）
 - FP-Jr Cadet 部門 ジュニアカート選手権 （準国内格式）
 - EV 部門 全日本カート選手権（国内格式）
3. 組織許可番号：2022-3501
4. EV 部門については、別途公式通知にて案内を行う。

第3条 開催日時、場所及びオーガナイザー

- 1.開催日 2022 年 4 月 9 日（土）～4 月 10 日（日）
- 2.開催場所 琵琶湖スポーツランド
〒520-0363 滋賀県大津市伊香立下龍華町 673-1
Tel. 077-598-2888
- 3.オーガナイザー (株)琵琶湖スポーツランド
〒520-0363 滋賀県大津市伊香立下龍華町 673-1
Tel. 077-598-2888

第4条 競技会組織委員および審査委員会

組織委員長	永原 雅之	審査委員長	(JAF 派遣)
組織委員	永原 悠	審査委員	(JAF 派遣)
組織委員	永原 有美	審査委員	田中 清士 (組織員会任命)

特別規則書（草案）

第5条 競技会競技委員

競技長	田中 稔	副競技長	和田充弘
コース委員長	中西 康二	進行委員長	木村 洋一
計時委員長	永原 悠		
技術委員長	北川 昌志	副技術委員長	南 章一
救急委員長	太田 洋一		
事務局長	永原有美	看護師	鰐口 明子

第6条 レース距離 種目：スプリント

	部門	予選	2nd	決勝
全日本カート選手権	FS-125	16周（15,200m）	12周（11,400m）	26周（24,700m）
全日本カート選手権	FP-3	16周（15,200m）	12周（11,400m）	26周（24,700m）
ジュニアカート選手権	FP-Jr	16周（15,200m）	12周（11,400m）	20周（19,000m）
ジュニアカート選手権	FP-Jr Cadets	14周（13,300m）	10周（9,500m）	18周（17,100m）

第7条 大会事務局

(株)琵琶湖スポーツランド

〒520-0363 滋賀県大津市伊香立下龍華町 673-1

Tel 077-598-2888

第2章 競技会参加に関する事項

第1条 参加申込

- 受付期間：～3月20日（日）※受付期間外での受付は原則受け付けない。
 - WEBエントリー：WEBエントリーフォームを開設する。
必要事項を入力し受付を完了する必要がある。
WEBエントリーの参加料支払い方法についてはクレジットカード・コンビニ支払い、による支払い方法が選択できる。
尚、エントリー締切日までに決済も完了することとする。払い込み期間終了後は、コンビニでの支払いができないため、現金書留及び大会事務局窓口での支払いとなります。
 - 郵送（現金書留）：参加申込書に必要事項を全て記載し、参加料を添えて申込締切日必着で郵送しなければならない。
なお、郵送での申込は事務局手数料として2000円が加算される。
 - 大会事務局窓口：参加申込書に必要事項を全て記載し、参加料を添えて第7条記載の大会事務局までに申込締切日までに受付しなければならない。なお、窓口での申込は事務局手数料として2000円が加算される

2. エントリーの受理と拒否

オーガナイザーは、理由を示すことなくエントリーの受理を拒否することができ、かつその行為をもって、最終の決定とする。この場合、エントリーフィー及び保険料は全額返金される。
エントリーの正式受理または、拒否通知及び、受理通知は4月3日頃に指定の通知方法にて発送される。

特別規則書（草案）

3. エントリーに必要なもの

参加申込書・エントリーフィー・出場承諾書（捺印の押されたもの）

未成年の場合は、親権者の印鑑証明（発行より3カ月以内・コピー不可）参加条件を満たしたライセンス

※捺印漏れなど、不備の無いように注意してください。

競技会当日は、ドライバーライセンス、エントラントライセンス、ドライバーの健康自認書を必ず持参すること。

参加承諾書はエントリー期限に併せて提出すること。

第2条 エントリーフィー及びピット登録料

選手権	部門	参加料	登録料	含まれるもの
全日本	FS-125	28,000円	ピットクルー 3500円/1名	消費税
	FP-3	28,000円		消費税
ジュニア	FP-Jr	56,000円		消費税・ デリバリーエンジン1基
	FP-Jr Cadets	56,000円		

※ドライバー1名に対してピットクルーは最大2名まで登録可能

※エントラントパス 1,500円/1エントラント

1. 遅延申込の場合、予め事務局に対して連絡した場合のみ申込を受ける事がある。ただし、この場合は3月27日（日）までに全ての書類と参加料金が届いていなければならない。
遅延手数料は全クラスとも1エントリーにつき、¥6,500とする。
2. 窓口及び現金書留でのエントリーの場合は、事務手数料として、2000円が加算される。
※WEBエントリーの場合、事務手数料はかかりません。
但し、WEBエントリーにてコンビニ払いを選択されて、期限内の払込が出来なかった場合は、窓口での支払いとなるため、この場合も、事務手数料として2000円が加算される。

第3条 タイヤディストリビューションについて(タイヤの販売・配布)

1. 本大会で使用するドライタイヤの購入先（カートショップ名）を参加申込書に必ず記載すること。
カートショップ以外からの参加者は琵琶湖スポーツランドより購入すること。
2. ドライタイヤは主催者より土曜日に配布、回収・主催者が保管し、日曜朝に再度配布を行なう。
（詳細スケジュール・配布方法については別途、公式通知で公示される。）
3. 購入先を指定した参加者は、購入指定先へドライタイヤの代金を支払うこと。購入指定されたカートショップは、JKOA（日本カート選手権オーガナイザー会）よりタイヤ代の請求がなされる。入金振込のみとする。
4. 開催日1週間前には、入金終了され、入金確認の上、受付時にタイヤ引換券が配布される。
琵琶湖スポーツランドより購入する参加者はエントリー時にタイヤ販売価格分を加算し、支払うものとする
なお、琵琶湖スポーツランドで購入する場合、各クラスのタイヤの価格（10%消費税込）は次の通りとする。

全日本 FS-125	44,000円
全日本 FP-3	34,100円
ジュニア FP-Jr	31,570円
ジュニア FP-Cadets	31,900円

5. タイヤ引換券は、大会当日土曜日の朝の大会選手受付時に配布される。

特別規則書（草案）

第4条 エンジン再登録料・再ブリーフィング料・シャーシ再登録料

1. エンジン再登録料

2022年全日本カート選手権統一規則 第16条2項(2)、ジュニアカート選手権統一規則 第16条2項(2)により、エンジン再登録料を下記の通りとする。

全日本 FS-125	2,000円
全日本 FP-3	2,000円
ジュニア FP-Jr	30,000円
ジュニア FP-Cadets	30,000円

2. 再ブリーフィング料 11,000円

定刻のブリーフィングに出席しないドライバー、競技参加者は、オーガナイザーが定める。
再ブリーフィング料 11,000円を支払い、再ブリーフィングを受けなければならない。

3. シャーシ再登録料

2022年全日本カート選手権統一規則 第17条2項(2)、ジュニアカート選手権統一規則 第17条2項(2)により、シャーシ再登録料を下記の通りとする。

全日本 FS-125	2,000円
全日本 FP-3	2,000円
ジュニア FP-Jr	2,000円
ジュニア FP-Cadets	2,000円

第5条 各種支払いについて

エントリーにかかる料金は現金または、振込のみの扱いとする。

大会期間中に発生する再登録料及びペナルティ等の支払いはすべて現金のみとする。

ただし、当コースにてタイヤの購入される方のタイヤ代、遅延金、シャーシの再登録料、キャッシュレス決済可能な場合もある。（詳細は支払時に要確認）

本規則書に掲載の金額はすべて消費税10%税込み価格である。

第6条 正賞及び副賞

1. 正賞及び副賞は以下のとおりである。

全日本 FS-125	1～3位	正賞及び副賞
全日本 FP-3	1～3位	正賞及び副賞
ジュニア FP-Jr	1～3位	正賞及び副賞
ジュニア FP-Jr Cadets	1～3位	正賞及び副賞

その他の賞典に関しては、JAF 振興策及びJKOA スポンサー規定に準ずる。

第7条 エントラントの代理人指名について

レース期間中、エントラントが欠席の場合は、エントラントが委任状で正式に代理人を指名し、代理人が当日委任状を持参もしくは、エントラントが事務局宛に事前に郵送すること。

（委任状はHPよりダウンロードしてご活用ください。）

特別規則書（草案）

第8条 保険

1. オーガナイザーの付保する保険とは別にドライバー900万円、ピット要員1名400万円以上のカート競技に有効な保険に加入していなければならない。

2. 保険の支払方法

保険金額は被保険者1名について次の通りとする。

[1]ドライバー保険金額 普通条件 1000万円

[2]ピット要員 保険金額 普通条件 1000万円

A. 死亡保険金

事故の日から180日以内に死亡した場合、保険金額（普通条件）が支払われる。

B. 後遺障害保険金

事故の日から180日以内に身体の一部をなくした、その機能をなくした場合は、その程度に応じて保険金額（普通条件）の下記割合で支払われる。

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1) 終身自由を行うことが出来ない場合 | 100% |
| 2) 両方の目が見えなくなった場合 | 100% |
| 3) 腕又は足（関節より上部）をなくした場合 | 60% |
| 4) 両方の耳が聞こえなくなった場合 | 80% |
| 5) ソシャクまたは言語の機能をなくした場合 | 100% |
| 6) 片方の目が見えなくなった場合 | 60% |
| 7) 鼻をなくした場合 | 15～30% |
| 8) 片方の手の親指（指関節より上部）をなくした場合 | 20% |
| 9) 片方の耳が聞こえなくなった場合 | 30% |
| 10) 片方の耳をなくした場合 | 3～5% |
| 11) 片方の手の人差し指をなくした場合 | 8% |
| 12) 足の親指をなくした場合 | 10% |
| 13) 親指・人差し指以外の指を一本なくした場合 | 10% |
| 14) 親指以外の足の指を一本なくした場合 | 5% |

前記の各号に該当しない不具史廃疾については保険加入者の職業、年齢、身分、性別等に関係なく、身体の完全に棄損した程度に応じて、かつ前記各号の区分に準じて50%以内で保険金が支払われる。

C. 入院保険金・通院保険金

障害の結果として平常の業務に支障をきたし、しかも医師の治療を要する時に支払われる保険金で平常の業務に従事することが出来るようになるまで1日について、入院の場合は3000円、通院の場合は2000円が支払われる。

D. 手術保険料

入院保険金が支払われる場合で、事故の日から180日以内にケガの治療を目的に手術を受けられたとき

[入院保険金日額]×[手術の種類に応じて定められた倍率（10倍・20倍・40倍）]

E. 付添看護保険料

入院保険金が支払われる場合で、所定の状態になり、医師が付添を必要と認めた期間に職業付添者（入院先の病院・診療所と雇用関係にある者を除きます）を雇い入れるとき

[入院保険金日額]×50%×[付添者の雇入日数（但し事故日から180日以内の雇入日数が限度）]

F. その他の規定

- 1) 入院保険金の支払は180日間を限度とする。
- 2) 通院保険金の支払は98日間を限度とする。
- 3) 事故による障害について後遺障害保険を重ねて支払われる場合その合算額を支払われる
- 4) 健康保険、労災保険その他の給付には関係なく保険金は支払われます。

G. 保険金請求についての必要書類

- 1) 傷害、後遺障害の程度を証明する所定の医師の診断書（傷害事故の場合）
- 2) 死亡診断書及び戸籍謄本（死亡事故の場合）
- 3) 競技長の事故確認書（傷害、死亡事故とも）
- 4) その他必要に応じてご提出していただく書類

第3章 競技に関する事項

第1条 スタート進行

- 1) フォーメーションラップ中の追い越し、隊列復帰禁止区間は8コーナー（路面にイエローライン）～スタートラインまでとする。
- 2) ダミーグリッドからの発進は1コーナーのパイロンところまでとし、エンジンの掛からないカートはピットに戻す。
- 3) フォーメーションラップ中に隊列が8コーナーのところまで来た場合は、ピットマーシャルがピットアウトを制止する。その時、スタート合図がなされた場合は、ピットスタートはできない。
各ヒートスタート時、本コース上において先頭車両が3コーナー通過時までにはエンジンのかからない車両はピットスタートとする。
- 4) フォーメーションラップ開始時、フロントローのドライバーは後続のドライバーが追いつけないようなスピードで走行しないよう注意する。特に6番ポストを通過してからは隊列を整えるように配慮すること。また最終コーナー立ち上がりから、スタートライン手前25mのイエローラインまでは加速してはならない。フォーメーションラップ中の指定区間での追い越しおよび割り込み違反者は当該ヒート失格となる。
フォーメーションラップ中に隊列のペースを乱した場合、当該ヒートの結果に10秒加算となる。
- 5) フォーメーションラップ中の極度なタイヤヒーティングは禁止される。（蛇行の禁止）

第2条 レース中の留意事項

- 1) 黄旗提示区間の徐行、追い越し禁止を厳守すること。
- 2) 青、赤旗の採用：ジュニアカート選手権の予選、決勝ヒートにおいて、周回遅れおよび周回遅れになろうとしているドライバーに対して青・赤旗（二重対角線で区分された旗）が示される。青・赤旗は競技長の指示によりコントロールライン上で振られ、示されたドライバーはピットインし、レースを止めなければならない。ピットインしない場合は失格（黒旗）の対象となる。
- 3) 復帰するための最小限の方向転換は認める。
- 4) 国内カート競技車両規則に定める必備の部品の脱落の場合、当該ヒート失格とする。
- 5) 捨てバイザー（シールド）を走行中に捨てることは禁止する。
- 6) タイヤの加工は一切禁止する。
- 7) 全日本/ジュニアカート選手権統一規則に基づき、ドライバーの合図は必ず行うこと。
合図（手の上げ方）は必ず頭上高く上げることを義務付ける。
オフィシャルが合図不履行（頭上高く上げていない場合も含む）と判断した場合には、ペナルティの対象となる。
- 8) 黒旗の提示は、コントロールライン上とする。
- 9) 競技を中断する必要があると見做された場合、全ての監視ポストで赤旗を提示する。
- 10) チェッカーフラッグを受けたカートに対しては黄旗を提示する。ドライバーは、黄旗に従い指定場所に移動すること。
- 11) ローリングが始まってから、レースがスタートするまでの間、メカニックはピットロード及び、コース側（プラットフォーム）に出てはならない。
チェッカー旗が振られたら、メカニックはコース側（プラットフォーム）及びピットから離れたパドックに戻らなければならない。また、チェッカー旗が振られた後にピットインしたカートの整備をしてはならない。
- 12) ピットインする場合はピットロードを徐行しなければならない、かつ必ずピットストップし、エンジンを停止しなければならない。これに違反した場合は当該ヒート失格となる。
- 13) 出走前には、選手自身全ての封印を行う。
- 14) レース中、リタイヤの選手も、必ず車検を受けること。レース中、ドライバーがパドックに入ってはいけない。（工具等を取りに行くなど）
- 15) レース中ピットクルーのピットロードへの立ち入りは、クレデンシャルを必要とし、ピット作業時またはピットサイン提示時以外はピットロードのピット側で待機してください。タイヤバリア沿いでの待機は禁止します。

特別規則書（草案）

16) イエローラインの次の白線をスタートラインとする。

イエローラインより2本目の白線をフィニッシュラインとする。

17) フォーメーションラップ中のドライバーへの速度の指示は、**DOWN** **KEEP** のボードをオフィシャルが示す。

提示は、6コーナー、8コーナー及び最終コーナーとする。

第3条 ドライバーに対する留意事項

走行中（公式練習、タイムトライアル、予選ヒート、決勝ヒート）の吸排気消音器の脱落は、次の通り行う。

□ 脱落して即座に安全な場所に移動して停止した場合および徐行にてピット（再車検場）に移動した場合は、当該ヒート失格とする（公式練習除く）

□ 脱落して走行し続けた場合は、レース失格とする。

最終コーナー出口アウト側からコースと平行して設置されているピット（コース図面指示箇所※A）については競技中における使用禁止とともにその際の人の立ち入りも禁止する。

- 1) ストレート走行中、空気抵抗を減らす目的で顔を伏せる姿勢のドライバーがいるが、視野（目線）まで伏せることは厳禁であり、如何なる状況下であっても前方の視野を保っておくこと。
- 2) フォーメーションラップ中、隊列のペースを乱さないように円滑なローリングを行うこと。
- 3) リタイヤの場合、エントラント、ドライバー署名の上、リタイヤ届を書面にて提出すること。
- 4) 予選グリッドはタイムトライアル順とし、決勝グリッドは、予選結果に基づき、または予選のグループ分けがあった場合、予選ヒートのポイントの少ない順に決定する。
- 5) ピットロード上では、速度を十分減速すること。
- 6) 1セットの登録タイヤは「技術委員長の承認のもとに、各1本のみ交換」が認められているが、交換を認める場合の基準は、バースト、パンクおよび嵌合部からの空気漏れ等がある場合のみとし、トレッド肉厚は交換する前のタイヤと同等以下であることが条件となる。
- 7) ピットエリアおよびパドック内での火気および高熱を発生するもの（溶接機、サンダー等）は指定された作業エリアで使用すること。

第4条 服装に関する注意

- 1) ヘルメットの顎紐
- 2) レーシングスーツ前側上部のファスナー押え用ストラップ

第5条 点火装置に関する事項

- 1) 技術委員長は、各車両に対し、点火装置の作動確認用測定器の装着を指示する場合がある。
当該指示のあった場合は測定器の装着指示に従わねばならず、本件に関する抗議は認められない。
- 2) 技術委員長は競技会審査委員会の指示に基づき、エントラントに対し当該車両の点火装置を技術委員長の指定する同一型式の他のものに交換させる場合がある。当該指示のあった場合は、その指示に従わなければならない。本件に関する抗議は認められない。

第6条 喫煙・火器の使用について

- 1) パドック内は全面禁煙とする。喫煙は喫煙場所にて行うこと。
- 2) パドック内での火器の使用は固く禁ずる。灯油・ガス式の暖房器具についても使用を禁止する。

第7条 エンジンの始動及び作動について

全日本/ジュニア選手権統一規則第30条14におけるエンジンの始動及び作動について

パドックエリア、ウェイトングリッド及びオーガナイザーが指定したエリアにおけるエンジンの始動及び作動についてはカートが走行可能な装備等を具備し、リアタイヤが設置した状態（リアタイヤが地面に常に接触した状態）でのみ認

2022年 JAF 全日本・ジュニアカート選手権 西地域 第1戦

特別規則書（草案）

められる。

ただし、オーガナイザーが指定した始動確認エリアにおいては、リアタイヤが地面に設置しない状態でエンジンの始動及び作動が認められる。

エンジンの始動及び作動の確認のみが認められる。作動時間は概ね2～3秒以内とする。

エンジン始動確認エリアは公式通知にて場所の指定を行う。

クラス	パドックエリア	ウェイトンググリッド	エンジン始動確認エリア
全日本 FS-125	カートが走行可能な 装備等を具備し、リア タイヤが設置した状態	カートが走行可能な 装備等を具備し、リア タイヤが設置した状態	リアタイヤが地面に接地しない状態
全日本 FP-3			リアタイヤが地面に接地しない状態
ジュニア FP-Jr			始動・作動は認められない
ジュニア FP-JrCadets			始動・作動は認められない

第8条 大会期間中の使用燃料/ オイルについて

期間中の使用燃料は全てのクラスにおいて2022年 JAF 全日本/ジュニアカート選手権統一規則

第3章、第20条1項により使用ガソリンを下記のとおり指定する。

1) 燃料について

1. 使用する燃料は下記住所に記載されたスタンドとする。※別紙B

ENEOS 石油株式会社代理店 藤本石油：滋賀県大津市真野普門3丁目 TEL077-572-1988

営業時間：月～土 7:00～21:00 日 7:30～20:00

2. 燃料には燃料の性質を変えるような装置を付けたり、添加剤を混入してならない。

指定ガソリン成分量—製品名：ENEOS ハイオクガソリン

密度	0.7566	g/cm ³	実在ガム	0	mg/100m l	
色	オレンジ		銅板腐食	1	@50℃3H	
オクタン価 (リサーチ法)	99.6		ベンゼン分	0.5	容量%	
蒸気圧	63.3	k Pa	硫黄分	0.0003 (-)	容量%	
蒸留性状	初留点	34.5	℃	ドクター試験		
	10%留出温度	52.5	℃	鉛分	0.001 (-)	g/ l
	50%留出温度	86.5	℃	メタノール分	0.1 (-)	容量%
	90%留出温度	126.0	℃	灯油分	1 (-)	容量%
	終点	181.0	℃	MTBE 分	0.1 (-)	容量%
	残油量	1.0	容量%	酸化安定性	600 (+)	分
			未洗実在ガム	9	mg/100ml	
			エタノール分	0.1 (-)	容量%	
			含酸素率	1.2 (-)	容量%	

2) 購入方法について

1. 上記指定ガソリンスタンドにおいて、参加受理書に同封のガソリン購入証明書に購入証明印をもらって下さい。

2. 燃料購入の際は、金属製携行缶を用い、給油ポンプより直接携行缶に入れてもらうこと。

特別規則書（草案）

3) 燃料検査について

1. 2022年全日本/ジュニアカート選手権統一規則第3章第20条3.により予告なく抜き打ち検査を行う場合がある。それにより違反、失格となった場合、検査費用の一切をドライバー（未成年の場合は保護者）により負担とするものとする。
2. 採取用として、各ヒート終了時点で燃料タンクに1L以上残しておかなければならない。
3. 主催者は各ヒートで使用したエンジンオイルのサンプルの提出をドライバーに求める場合がある。

4) 消火器携帯について

2022年JAF全日本/ジュニアカート選手権統一規則 第4章第29条17に則り、各ドライバーは消火器の携帯を義務付けるものとする。

また、公式車検時に消火器の確認、封印（マーキング）を行なう。

【携帯用消火器の条件】

- 種類：ABC 粉末タイプ
- 大きさ：4型（内容量1・2kg）以上
- 使用期限内のもの

消火器は、ピット内の見える位置に配置すること。

第8条 自動計測装置

オーガナイザーが用意する自動計測装置取り付けを参加者は拒否出来ず、取り付けを拒否したドライバーの出走は認められない。オーガナイザーが指定する時刻に発信機配布を受け、公式練習までに指定取り付け場所に装着する事。（指定取り付け場所とは、オーガナイザーが指定する場所）

レース後、必ず大会事務局への返却し、破損、紛失、未返却の場合は、50,000円申し受ける。

第9条 車載カメラについて

全日本/ジュニアカート選手権全クラスにおいて、車載カメラの取り付けを禁止する。

第10条 肖像権について

主催者およびこれらの指定した第三者は、参加者の写真その他の肖像、参加車両の写真、デジタル画像、音声、映像等をWeb-site、報道、放送、出版等に用いることができる。

第11条 その他

- 1) 電光掲示板の表示及び、レースアナウンスはサービスの一環として表示しているものであり、暫定又は、正式発表との食い違いがあっても、全て事務局より発表される結果が優先される。
- 2) レース進行の基準となる時間は、公式時計に従う。公式時計はコントロールタワー1Fに設置。
- 3) スタート前の集合は場内放送にてご案内致しますのでご協力お願いいたします。
- 4) スムーズなレース進行を心がけるためにも、オンタイムでのスケジュールの協力をお願いします。
天候や日没時刻によって安全性を考慮し周回数の減少や時間の短縮を行う場合もあります。
- 5) ドライバーのフェアプレーを促すために、レース開催中、怪我をしないで日頃の実力を十分に発揮してもらう。
- 6) 最終コーナー出口アウト側からコースと平行して設置されているピット（コース図面指示箇所A）については競技中における使用禁止とともにその際の人の立ち入りも禁止する。 ※別紙A

第12条 救急病院

- 1) 医院名 山田整形外科

所在地 大津市本堅田5丁目 ※別紙B

電話番号 077-573-0058

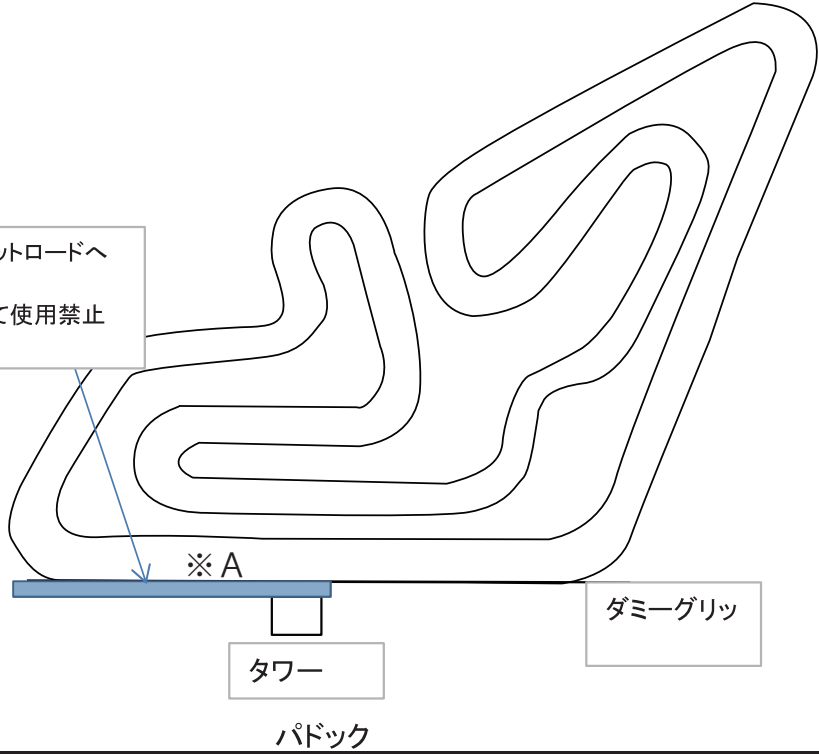
特別規則書（草案）

2) 大津赤十字志賀病院

滋賀県大津市和邇中 298 番地 Tel. 077-594-8777

A

競技中の人のピットロードへの立入禁止
競技中ピットとして使用禁止



レース中のピットエリアはコントロールタワーから第1コーナー側とします。
最終コーナーからコントロールタワーまではパドックエリアから、ピットレーンには出ないでください。
※ペナルティーとなります。

B

